

2018年2月吉日

アライアンス・フォーラム財団をご支援頂いている皆様

アライアンス・フォーラム財団  
代表理事 原文人

アライアンス・フォーラム財団では、これまでアジア、アフリカで中間層育成に向けた多くの取り組みを展開してきました。

今般、長期に亘る内戦の混乱から復興しつつあるエルサルバドル国政府がこうした財団の活動に関心を寄せ、財団の理念である健康な中間層の育成や人材育成による自律的な経済復興を目指すべく、同国の政府・経済界・学生らと議論・意見交換の申し出がありました。今回の訪問に当たっては、駐日エルサルバドル大使館のセラヤンディア・マルタ・リディア特命全権大使の協力もあり、短期間ながら密度の濃い内容になる予定です。

下記に訪問の目的並びにテーマを掲載しておりますが、主旨ご理解の上、エルサルバドル国を始め中米諸国との関係構築に関心をもち、同国の政府関係者・経済界代表・学生らとの議論に加わりたいと希望される参加者を募集致します。

さらに、エルサルバドル国訪問後引き続き、アライアンス・フォーラム財団代表理事（元国連政府機関特命全権大使）として、NY国連本部にて第18回 Inforpoverty World Conference<sup>1</sup>に出席し、「公益資本主義と国連SDGs」（仮題）の講演を行う予定です。希望者は、同会議にもオブザーバーとして参加頂くことができます。

（記）

1 訪問目的：

エルサルバドル共和国及び中米諸国において教育を受けた健康な中間層を生み出すために日本の民間とエルサルバドル共和国政府や国民との間で議論を進める。さらに、この議論を両国の官民へと広げていくと同時に、エルサルバドル共和国政府が中米学生使節団再開に向けてどのような考えを持っているかについての意見交換を行う。

アライアンス・フォーラム財団（以下、AFF）は、国連経済社会理事会の特別協議資格を有する非政府機関であり、『技術を使って世界をかえる』をビジョンに、新しいテクノロジーを実用化することで次世代の基幹産業を創出し、新たな雇用を生み出し、国民生活全体の活性化を通じて途上国に教育を受けた健康な中間層を創り出していくことを目的に活動をしている。実行にあたっては、先進国のベストプラクティス導入を実践す

---

<sup>1</sup> 経済社会理事会ならびに広報局認定の非政府機関である OCCAM(Observatory for Cultural and Audiovisual Communication)主催の国際会議

るのではなく、対象となる国ごとの文化、習慣の違いを認識、尊重することから始め、そうした理念に基づく人材育成・教育にも力を注いでいる。現在までアジア・アフリカにおいて、新技術を用いて産業を興すことや、貧困層が中産階級層へと移行していくのに有効な金融制度改革を行ってきている。

今般エルサルバドル国政府等関係者に AFF の活動実績に基づく貧困対策、経済的自立に向けた提案を紹介した上で、政府関係者、経済界代表、学生らとの意見交換を行い、日本とエルサルバドル国が官民協力してどのような経済協力関係に軸足を置くことでエルサルバドル国で教育を受けた健康な中間層を作ることができるかについて議論する。

またこの活動を継続的なものにするためにも、AFF は 1976 年の第 7 次以来、同国の政変等の影響で中断している「中米学生使節団の再開」についてもエルサルバドル国政府と協議を行う予定。

## 2 議論のテーマ：TBD

下記活動事例を参考に、別途エルサルバドル政府と協議の上決定予定。

AFFによるアジアやアフリカでの活動を参考に、中南米に適合できる事業モデルについてブレインストーミングをエルサルバドル国政府及び民間と行う。その上で、それぞれの国の文化、習慣、環境の違いを尊重し、目的達成のために柔軟な策を検討したいと考えており、これらも含めて現地の政府、経済界、労働界、学生との対話を行う予定。

(参考)

AFFが途上国の貧困問題を解決し、教育を受けた健康な中間層を作るための活動事例：

### 2.1 マイクロファイナンスによる経済活性化と貧困層の自立

2005年よりAFFはバングラデシュにて世界最大のNGOであるBRACと共同してマイクロファイナンス・グラデュエイト・プログラムを開始し、200名に上るリーダーを輩出してきた。このコースの講師にはノーベル平和賞受賞者のモハメッド・ユヌス博士や、BRAC創業者のフィザル・アベッド氏、澤田アジア開発銀行チーフエコノミストなどが名を連ねる世界トップクラスのプロフェッショナル要請コースとなっている。

### 2.2 アフリカ 19 ヶ国における金融制度改革

19 ヶ国からなるアフリカ最大の自由貿易圏を形成するCOMESAでは、旧宗主国の支配下で確立された担保主義を基本とした銀行法・金融制度が、貧困層の借り入れを困難にしており、今世紀 30 億人と言う爆発的な人口増が予想されている

各国国民の中間層への成長を阻害している。A F Fは 19 カ国の財務省、中央銀行と連携をとり、各国の貧困層が中間層へと becoming するために必要な金融制度改革を進めてきた。

### 2.3 バングラデシュにおける先端事業を通じた新産業構築

2004 年と言う早い時期に欧米に先駆けて当時の最先端の無線通信技術である WiMax を、アジアの後発発展途上国でも最も貧しかったバングラデシュにおいて事業化することに成功した。しかもこの事業の持ち分の 40%を貧困問題に取り組む N G O が所有する形態とし、利益が出た場合には 40%を N G O を通じて農村部の教育と保険に活用できるような自立可能な事業モデルを世界に先駆けて作ることに成功した。世界銀行では当時、この新事業モデルを『DEFTA bracNet モデル』と呼び、世界で同様のモデルが起きることを推奨した。

### 2.4 サブサハラ・アフリカのザンビアにおける栄養不良改善事業

アフリカの人口増加は今世紀 30 億人と予想され、そのうち貧困層に生まれる幼児の 40%が、タンパク質の不足から来る脳の発達障害が起きる可能性があると言われていている。即ち最悪の場合、今世紀に約 10 億人もの単純労働しかできない人々が増えることになり、中間層をアフリカで作ることが益々困難になると言う文明の後退ともいえる事態が想定される。A F Fは自立可能な栄養改善事業をアフリカ 19 カ国と協力し、先ずザンビアにおいて栄養不良率ゼロ村を作る取り組みを行っている。

### 2.5 アフリカでのスピルリナ栽培パイロット事業

A F Fでは、前述改善事業の具体的取り組みとして、アフリカのザンビアで乳幼児の栄養不足解決に向け、スーパーフードとして知られるスピルリナ栽培による食料普及プロジェクトを推進している。5 歳未満の乳幼児の栄養不足は脳の発達に大きく影響を与え、成人してからの就業能力に欠ける要因となることが医学的に証明されている。A F Fのこのプロジェクトにより貧困層の乳幼児の栄養不足解消を図り、若年層からの人材育成と将来の有能な人材確保に向けた素地を作り上げるべく中長期的な事業をザンビア政府と推進している。

### 2.6 若年層情操教育インフラの提供

バングラデシュ若年層の情操教育の一環として、日本のアニメを活用することにより、家族を大切にする、真面目に仕事をする、こつこつ勉強をするといった基本的な情操教育を普及させるプロジェクトも現在進行中である。

## 《概要》

1. スケジュール： エルサルバドル訪問 2018年4月6日（金）～2018年4月11日（水）
  - \* エルサルバドル国現地集合・現地解散
  - ・ NY 国連イベント 2018年4月13日（金）
  - \* NY 現地集合・現地解散
  
2. 募集人数： 若干名（2～3名）
  
3. 同行者： アライアンス・フォーラム財団 代表理事 原丈人  
他、AFF スタッフ、元中米学生使節団代表
  
4. 費用： 80万円/参加者1人
  - \* 現地までの渡航費、宿泊費、自由時間の食費は自己負担
  - \* 尚、エルサルバドル国の宿泊先は別途紹介（但し各自予約）
  
5. 内容（案）：
  - ・ エルサルバドル政府関係者、経済界関係者との協議
  - ・ 元日本留学生や現地学生との協議
  - ・ 同国内のマヤ遺跡や観光地等視察
  - ・ NY 国連イベントの参加（添付参照）
  - \* 現地での面談&協議等は基本英語で行う（通訳なし）
  
6. 行程（案）：
  - 4月6日（金） エルサルバドル集合（各自フライトにて）
  - 4月7日～8日（土日） 学生・民間等交流会、名所遺跡等観光
  - 4月9日（月） 政府、経済界など関係者との面談、協議
  - 4月10日（火） 午前 面談協議、午後 未定
  - 4月11日（水） エルサルバドル解散（各自フライトにて NY 等へ移動）
  - 4月12日（木） 自由行動
  - 4月13日（金） 国連イベント参加
  - 4月14日（土） NY 解散（各自フライトにて）
  
7. 本件に関する連絡先：
  - 一般財団法人 アライアンス・フォーラム財団
  - 担当者：太田 Tel: 03-6225-2795 E-mail: a-ota@allianceforum.org

以上

(添付)

## NY 国連イベント概要

### ○ 基本概要

- ・ 日時：2018年4月13日（金）
- ・ 場所：国連本部、経済社会理事会会議場
- ・ 内容：18th Infopoverty World Conference<sup>2</sup>
- ・ メンバー：原丈人代表、駐日エルサルバドル大使、参加希望者

### ○ 18th Infopoverty World Conference

- ・ 午前10時～12時  
議長 Pierpaolo 総裁 @ミラノ（高精細画像中継で欧州議会と結んで会議）  
挨拶：議長国イタリアの国連大使、日本国連大使  
講演：原丈人元国連政府機関特命全権大使・アライアンス・フォーラム財団代表  
テーマ 「公益資本主義と国連 SDGs」
- ・ 午後12時～ 日本政府国連代表部大使主催の昼食会（予定）
- ・ 午後3時頃～ （未定）
- ・ 夕食 会食予定

以上

---

<sup>2</sup>経済社会理事会ならびに広報局認定の非政府機関である OCCAM(Observatory for Cultural and Audiovisual Communication) 主催の国際会議